

九州

令和6年度 定時総会・懇親会

野口 基雄(RKB)

九州民放クラブ福岡では、4月18日(木)、福岡市中央区今泉の中華「福新楼」で定時総会・懇親会が開催されました。参加者は、来賓を含め前年よりも4名少ない17名でした。



総勢17名で総会・懇親会の始まりー！

総会では、前年度決算・事業報告、新年度予算案が異議なく承認され、会員増加のために会員資格の規約改正がありました。配偶者を含む家族や、関係会

社・番組出演者等も会員に呼び込もうという趣旨です。これにより、入会を希望されていた、元番組出演者で料理研究家の上村節子さんが晴れて入会、水彩画同好会に参加の予定です。

懇親会は、ビールや紹興酒で乾杯後、美味しい料理に会話も弾み、楽しいひと時を過ごしました。

ただ、心配なのは出席者数の減少です。コロナ禍前は30人の出席が、昨年21名、今年17名。昨年は新入会員が4名ありましたが、一方で10名の逝去者が出て、減少の幅が広がっています。

今回の規約改正が実のあるものになればと願っています。

奥豊後しだれ桜を見物

川野 是(TOS)

コロナ禍で停滞気味の大大地区の活動でしたが、春うららの季節を迎え「そろそろ動き出しましょう」との声が出て、「日帰りの奥豊後しだれ桜見物」を、旅行同好会・写真同好会・うまい会が合同で企画しました。

開花時期が予想よりも遅れましたが、参加者9名は4月5日に



長湯温泉しだれ桜の里

乗用車3台に分乗し、目的地の竹田市直入町の「長湯温泉しだれ桜の里」に到着しました。ここは元民放ラジオ局役員のA氏が定年後に一人で山野を開墾。一本一本苗を植え、ついに2600本の桜が育ちました。しかし、開園1年後にA氏は急逝。15年間こつこつ植えたしだれ桜を娘さんが受け継ぎ、今では竹田市の新名所として多くの観光客が訪れています。

桜見物の前に連日雨が降り続きましたが、この日は薄曇りながら暖かい天気でした。参加者9名は、広大なしだれ桜の里で満開の桜を観賞し、のんびりと春の一日を過ごしました。

帰りは県道412号(肥後街道)

を通り、参勤交代道路の宿場町として栄えた大分市今市を訪ね、今も残る石畳道路としだれ桜の共演を楽しみました。今回、3つの同好会による「奥豊後桜見物と歴史散策の旅」を、参加者が十分に楽しむことができよかったですと思っています。



参勤交代路の石畳でしだれ桜と記念写真



2600本のしだれ桜が満開